



インクルーシブ教育実践論

インクルーシブな職場づくり

武田薬品工業（株）との連携授業を行いました！

開催日時：2026年5月29日(金) 13時10分～14時40分

実施方法：対面講義

講師：金生 竜明 氏（武田薬品工業株式会社）

担当：岡村 章司 教授、小川 修史 教授

第8回目にあたる授業では、武田薬品工業でのDE&I (Diversity Equity & Inclusion)の取り組みについて金生氏よりご紹介いただきました。企業における実践事例をもとに、多様性を尊重する組織づくりや、変化を生み出すための考え方について紹介いただき、教育現場との共通点や相違点について考える機会となりました。

受講後のレポートからは、多くの学生が「対話」の重要性を強く認識していたことがうかがえました。異なる価値観を持つ人々と互いを理解し合うためには、一方的な主張ではなく、相手を尊重した対話が不可欠であるという点が特に印象に残ったという意見が多く見られました。また、「心理的安全性」という考え方に初めて触れた学生も多く、自分らしさを安心して表現できる環境づくりの重要性について理解を深めていました。性的マイノリティへの配慮やアウティングを防ぐこと、安心して自己開示できる環境を整えることは、将来教員として学級経営を行う上でも重要な視点であるとの

感想が数多く寄せられました。一方で、学校現場では規律や集団生活との両立も必要であることから、企業の制度をそのまま導入するのではなく、教育現場に適した形で活用することの必要性について考察する学生も多く見られました。

今回の講義では、企業におけるダイバーシティ推進やインクルーシブな組織づくりについて学ぶことで、学生が教育現場を新たな視点から見つめ直す機会となりました。企業と学校という異なる環境であっても、「対話」「心理的安全性」「多様性の尊重」という考え方は共通して重要であることを理解し、多くの学生が将来の教員として実践したい内容として受け止めていました。

